



エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	15.5アール（約469坪）
保証量	玄米698kg
形態・品種	特別栽培コシヒカリ
ブランド	米風土「海」
Co2回収	約1550kg

生産者



除草剤の使用を1回減らしたため、稲より長く伸びる草が少し目立つようになりました。田んぼに入り手作業で抜き取っていました。8月後半は稲刈り準備で草刈作業を念入りに行っています。長雨が続いていましたが収穫の頃には秋晴れの良い敵になればと思っています。

高橋 秀紀

8月に行った作業

1. カメムシ防除

カメムシが寄り付かないように粉末の薬を散布しました。カメムシはお米がまだ液状の時に吸い取って食べてしまいます。その結果お米が黒くなってしまいうため、それを防ぐ作業をしています。（左下写真）



2. 落水までの水管理

今年は気温が高く、高温障害を心配していました。高温障害になると「シラタ」といってお米が白く濁ってしまいます。これを防ぐために適切な時に水を入れ替えて稲を冷やしています。

4. 稲刈り準備

落水を行い土を乾かすことで、コンバイン（稲刈り機）の走行性が安定します。また収穫したお米を乾燥させる穀物乾燥機などの機械点検を念入りに行い、いつでも稲刈りができる状態に準備しておきます。

3. 落水（らくすい）

落水とは水田から水を抜くことです。落水時期は非常に重要で早すぎても遅すぎても品質に大きく影響します。田んぼごとに最適な日を稲刈りの日から逆算して落水を行います。（右下写真）

